

【東広島市立松賀中学校区】令和3年度 CAN-DO リスト

校種	小学校			中学校		
学年	小学校第3・4学年	小学校第5学年	小学校第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
聞く	1 ゆっくりはっきり(必要に応じて繰り返し)話された際に、動物や食べ物、数字など短くて簡単な語句や基本的な表現について、その意味が分かるようにする。また、文字の読み方が発音された際に、音と文字の形を結び付け、どの文字であるか分かるようにする。	1 ゆっくりはっきりと簡単な語句や表現で話されれば、日付や値段、できることなどを表す表現など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。	2 ゆっくりはっきりと簡単な語句や基本的な表現で話されれば、友達や家族、学校生活などに関する短い会話や説明について、イラストや写真などを参考にしながら、必要な情報を聞き取ることができる。	3 ゆっくりはっきりと話されれば、身近でなじみのある話題について、目的や状況に応じて必要な情報を聞き取ることができる。	4 ゆっくりはっきりと話されれば、身近な出来事や体験したことを話題にしたスピーチ等を聞いて、話の概要を捉えることができる。	5 はっきりとなじみのある発音で話されれば、学習材として扱ったなじみのある話題に関するプレゼンテーション等を聞いて、概要や要点を捉えることができる。
読む		1 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現であれば、絵や写真が付された語を読んでその意味を理解することができる。活字体で書かれた大文字を見て、その読み方を発音することができる。	2 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現であれば、絵や写真が使われている短い英文を読んで主な内容を理解することができる。活字体で書かれた文字を見て、その読み方を発音することができる。	3 必要に応じて辞書を使えば、簡単な語句や文で書かれた日常的な話題(広告やパンフレットなど)について、目的や状況に応じて、必要な情報を読み取ることができる。	4 必要に応じて辞書を使えば、簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで、概要を捉えることができる。	5 必要となる語句を調べたりすれば、簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表などを参考にしながら、概要や要点を捉えることができる。
話す	1 前もって準備した内容であれば、(必要に応じてサポートを受けながら)自分のことや身の回りの物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて動作を交えながら質問をしたり答えたりすることができる。	1 前もって準備した内容であれば、好きなものやできることなど日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。	2 前もって準備した既習の内容であれば、自分や相手に関することについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	3 好きなものや得意なこと等の身近でなじみのある話題について、簡単な語句や文を用いて、考えや気持ちを即興で伝え合うことができる。	4 興味のあるものや関心のあること等の身近で日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどのまとまった内容をメモで整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりして、対話を続けることができる。	5 社会的な話題に関して聞いたことについて、簡単な語句や文を用いて、自分の意見や感想をその理由や根拠などを交えて、述べ合うことができる。
	1 前もって準備した内容であれば、必要に応じて実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分や身の回りの物について紹介することができる。	1 伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことについて、自分の気持ちや考えなどを話すことができる。	2 前もって準備した内容であれば、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分や自分の学校のこと等身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。	3 自分のお気に入りのものやスポーツや音楽などの身近でなじみのある話題について、簡単な語句や文を用いて、考えや気持ちを即興で話すことができる。	4 体験したことや興味のあること等の身近な話題について、話す内容の展開や構成等をメモに整理し、簡単な語句や文を用いて、順序良く話すことができる。	5 社会的な話題に関して聞いたことについて、メモなどを活用しながら口頭で要約したり、簡単な語句や文を用いて、自分の意見や感想をその理由や根拠などを交えて話すことができる。
書く		1 音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現であれば、自分のことについて、例文を参考に、相手に伝えるなどの目的をもって、書き写すことができる。	2 音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現であれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、相手に伝えるなどの目的をもって、書き写すことができる。	3 簡単な語句や文を用いれば、自分のお気に入りのものやスポーツや音楽などの身近でなじみのある話題について、複数の文で正確に書くことができる。	4 簡単な語句や文を用いれば、体験したことや興味のあること等の身近な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理したメモなどを基にして、まとまりのある文章を書くことができる。	5 学習材料として扱った程度の語句や文を用いれば、社会的な話題に関して聞いたことのある話題について、自分の意見や感想を論理的な展開となるように、理由や根拠などを交えて、書くことができる。